

参加者募集

No.18-09シンポジウム

自動車廃熱回収利用技術総合シンポジウム Professional Course —車両効率向上とCO₂排出削減を目指して—

問合せ先：技術交流グループ 石神・山内 Tel. 03-3262-8214 Fax. 03-3261-2204

【URL】 <http://www.jsae.or.jp/sympo/2009/scdl.php> E-mail: sympo@jsae.or.jp

日時：2010年2月18日(木) 10:30～16:00
会場：東京トラック事業健保会館 6階 大会議室
(東京都千代田区四番町5-7)
主催：(社)自動車技術会
企画：伝熱技術部門委員会
協賛：(社)化学工学会・(社)水素エネルギー協会・(社)電気学会・
(社)日本エネルギー学会・(社)日本機械学会・(社)日本伝熱学会

定員：50名
参加費(消費税込・テキスト1冊込)：
正会員 10,500円 学生会員 3,150円
賛助会員 22,050円 一般 31,500円
協賛学協会の会員 22,050円
2009年度に開催しますシンポジウムの正会員参加登録費を15,750円から10,500円に値下げしました。

申込方法：次のいずれかの方法でお申込み下さい。

- ①インターネットからの申込み：
「イベントカレンダー」【URL】 <http://www.jsae.or.jp/calendar/>
「シンポジウムページ」【URL】 <http://www.jsae.or.jp/sympo/2009/scdl.php>
- ②インターネットをご利用できない方：
シンポジウム名・参加者名・連絡先住所・電話番号・会員番号(該当者のみ)を明記の上、E-mail, Fax, または郵送にて下記へお送り下さい。
申込先：102-0076 千代田区五番町10-2
(社)自動車技術会 技術交流グループ

E-mail: sympo@jsae.or.jp Fax. 03-3261-2204

申込締切日：2010年2月10日(水)

申込締切日以降も空席がある場合は受付けます。

申込キャンセルについて：

- 申込締切日まで：キャンセル料は発生しません。なお、ご入金済の場合は、送金手数料を除き返金いたします。
- 申込締切日翌日以降：ご出欠に係らず参加費全額をお支払いいただきます。なお、開催終了後、テキストを送付いたします。

参加のおすすめ

電気自動車普及の機運が高まる中で、エンジン自動車の効率向上が緊急の課題となっています。車両効率の向上には、エンジン自体の効率向上に加えて、排気熱、冷却熱、減速エネルギー等の回収利用が有効となります。各種の廃熱回収利用技術を集まるので、ご参加頂き、車両効率向上のヒントを得て頂ければ幸いです。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

伝熱技術部門委員会委員長 首藤登志夫

伝熱技術部門委員会



委員長
首藤登志夫



幹事
岩崎 充



幹事
下野園 均



幹事
古畑朋彦

プログラム：

- 10:30 開会挨拶 伝熱技術部門委員会委員長
北海道大学 首藤登志夫氏
- 司会 岩崎 充氏(カルソニックカンセイ(株))
- 10:40 Waste Heat Recovery-A Future Step for BMW Efficient Dynamics
ビー・エム・ダブリュー(株) 江原 隆氏
- 11:20 ランキンサイクルを用いた車載用廃熱回生システムの研究
(株)本田技術研究所 茨木 茂氏
- 12:00 昼休み
- 司会 下野園 均氏(日産自動車(株))
- 13:00 エンジン高効率化から見た伝熱技術と廃熱回収・スターリングサイクルの可能性
トヨタ自動車(株) 澤田大作氏
- 13:40 熱電素子を利用した自動車の廃熱回生技術の現状と将来展望
(株)本田技術研究所 服部 真氏
- 14:20 休憩
- 司会 古畑朋彦氏(群馬大学)
- 14:35 燃料改質による化学的廃熱回収—メタノール改質ガスエンジンの研究および今後のエネルギー効率改善への適用—
日産自動車(株) 廣田寿男氏
- 15:15 化学蓄熱・ケミカルヒートポンプによる自動車廃熱回収利用技術の実用化に向けて
千葉大学 小倉裕直氏
- 15:55 閉会挨拶 伝熱技術部門委員会委員長
北海道大学 首藤登志夫氏

*技術者育成の要素を持ったシンポジウムを技術レベルにより技術者育成講座として認定しています。Standard Course：基礎、Intensive Course：中級、Professional Course：上級

*プログラムは講師、会場の都合などにより予告なく変更となる場合があります。